

第63回 関西学生柔道優勝大会 要項

- 1、主 催 関西学生柔道連盟・毎日新聞社
- 2、後 援 兵庫県・尼崎市・兵庫県教育委員会・尼崎市教育委員会・（公財）尼崎市スポーツ振興事業団・尼崎市体育協会
近畿柔道連盟・兵庫県柔道連盟・尼崎柔道協会
- 3、開催日時 平成25年5月26日（日） 午前10時
- 4、場 所 ベイコム総合体育館（尼崎市記念公園）
〒660-0805 尼崎市西長洲町1-4-1 TEL06-6489-2027
- 5、競技規則
- (1) 参加資格
 - ① 関西学生柔道連盟加盟大学の在学者で（公財）全日本柔道連盟に競技者登録している者。
 - ② 国公立大学又は短期大学等の学生。
 - ③ 在学中、実業団その他の職域チームに属し、その試合に出場していない者。
 - ④ 本大会への選手登録回数が4回以下の者。（但し、医学部・歯学部・獣医学部・薬学部の学生は6回以下の者）
 - (2) チーム編成
 - ① 1大学1チームとする。
 - ② 1部大学出場校は選手12名以内、2部大学出場校は選手9名以内とする。
 - (3) 試合方法
 - ① 各大学の登録によって1・2部制とし共にトーナメント方式による。
 - ② 試合は、1部 7名の点取り方式によって行う。
2部 5名の点取り方式によって行う。
 - ③ 試合時間は1部5分、2部は4分とし、判定基準は、「有効」又は「指導2」以上とする。
 - ④ 勝者同数の場合は次のように定める。
 - イ) 勝負の内容を検討し、その優位の方を勝ちとする。
 - ロ) 勝者、内容とも同一の場合は、代表戦を行ない延長戦になった場合はゴールデンスコア方式にて勝負を決定する。
 - ⑤ オーダーについては次のように定める。
 - イ) 選手の配列は、自由とし各回戦において、オーダーの変更を認める。
 - ロ) 1回戦のオーダーの提出は午前9時30分に締め切る。
 - ハ) 2回戦以降は、対戦大学決定後、5分以内に提出する。
 - ニ) 5分経過後は、自動的に前回戦のオーダーとなる。
 - (4) 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定による。その他は審判会議で申し合わせる。
 - (5) ゼッケン 出場選手は、必ず規定のゼッケンを付ける。（氏名文字は黒字）
※ゼッケンを付けていない選手は出場を認めない。
※企業ロゴは付けない。
 - (6) 柔道衣 （公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。
- 6、組み合わせ シード校 1部は第62回関西学生柔道優勝大会の上位10大学、2部は上位4大学として、抽選により決める。
- 7、表 彰
- (1) 1部・2部とも3位までとし、3位決定戦は行わない。
 - (2) 1部優勝大学に対して優勝旗、2部優勝大学に対して優勝杯を授与する。（持ち回り）
 - (3) 1・2部とも優勝校・2位・3位に対して賞状、楯を授与する。
- 8、全日本大会 9校
出場校数
- 9、全日本大会 出場資格
- (1) （一社）全日本学生柔道連盟の正会員である柔道部であること。
 - (2) 関西学生柔道優勝大会（1部）に出場していない大学は全日本学生柔道優勝大会の出場権を与えられない。
 - (3) 次の9校は全日本学生柔道優勝大会への出場資格を有する。
 - イ) 1部上位8校
 - ロ) 1部上位16校のうち、上位8校を除いた8校によりそのままのトーナメント方式で対戦し、1校を選出する。
- 10、傷害保険 参加大学は、傷害保険料（1人250円）を分担金とは別に銀行振り込みをする。
- 11、安全対策 主催者は、大会出場選手に対する傷害保険に加入すると共に指定救急病院を手配する。試合場に医師を手配し、応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。大会当日、出場選手は必ず保険証（コピー可）を持参する。
- 12、参加申込
- (1) 申込方法 申込責任者は各大学監督とし、webにて申し込みを行う。
 - (2) 申込日程 web申込期間 4月15日（月）、4月16日（火）
※出場選手の在学証明書と健康診断書を郵送する
 - (3) 選手変更締切日 5月16日（木）午後5時迄に必要書類を添えて事務局まで提出した者は変更を認める。
※必要書類とは、変更用紙、怪我をした者の診断書と変更選手の在学証明書及び健康診断書。
- 13、抽 選 会 4月20日（土） 午後3時より（毎日新聞大阪本社 毎日インテシオ 4階 大会議室）
- 14、申 込 先 〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞大阪本社総合事務局内
『関西学生柔道優勝大会 大会事務局』 TEL/FAX 06-6346-8090
- 15、そ の 他 《皮膚真菌症について》
皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場を禁止する。（ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める）